

令和元年7月5日

関係機関等の長 殿

国立大学法人佐賀大学
教育研究院自然科学域長
渡 孝則

教員の公募について（依頼）

拝啓 時下ますます御清祥のこととお喜び申し上げます。

さて、このたび本学域では、下記により若手教員を公募することとなりました。佐賀大学は、地域創生の拠点大学として、地元自治体や企業との連携を図りつつ、地域の農水産業及び関連産業の振興に寄与するため、「地域の農水圏生物生産・利用技術等の高度化」に関するプロジェクト研究を推進しています。

本公募で募集する教員については、「植物栄養学」や「土壌学」を基盤とした施設栽培に関する研究を推進する若手研究者を募集します。

つきましては、貴機関関係者各位へ御周知いただくとともに、適任者の推薦についてよろしくお取り計らい願います。

敬具

記

1. 募集者 佐賀大学（佐賀市本庄町1）
2. 所属・職名 自然科学域農学系 講師または准教授（常勤職員）
3. 募集人員 1名
4. 就業場所 佐賀大学本庄キャンパス（佐賀市本庄町1）
・配属先 農学部生物資源科学科生物科学コース
5. 専門分野 植物栄養学（新設）
6. 担当業務 教育に関する内容
学 部：植物栄養学，土壌学 等
植物栄養学分野の専門科目，卒業研究 等
大学院：植物栄養学特論，植物栄養生理学特論 等
植物栄養学分野の専門科目，特別研究 等
教養教育科目等：実践栽培Ⅳ 等
その他，専門分野に関する研究及び大学の管理運営業務にも携わっていただきます。
7. 待 遇 任 期：令和4年3月31日まで 常勤職員（任期付：再任可）

※業績審査等学内手続きにより任期無しとなる可能性あり。

賃 金：年俸制（国立大学法人佐賀大学年俸制教員給与規程による。）

ただし、応募する時点で佐賀大学に常時勤務する大学教員のうち国立大学法人佐賀大学職員給与規程の適用を受けている方については、引き続き同規程の適用を希望することも可能です。

勤務形態：週5日、38時間45分勤務

（月～金）8時30分～17時15分（12時～13時は休憩時間）

*専門業務型裁量労働制により、7時間45分働いたものとみなされます。

休 日：土日、祝日、年末年始（12月29日～1月3日）

健康保険：文部科学省共済組合、労災保険、雇用保険加入

備 考：その他詳細は、国立大学法人佐賀大学職員就業規則等による。

8. 応募資格：次の各項を全て満たす者

- ① 植物栄養学分野における博士の学位または Ph.D.を有する若手研究者（取得後9年以内程度）
- ② 植物栄養学や土壌学を基盤とした作物の栽培生理や機能性成分に関する研究上の実績を有する者
- ③ 地域の農水圏生物生産・利用技術等の高度化プロジェクトに参画している教員と連携して、植物工場における高付加価値作物の生産につながる研究を推進できる者
- ④ 植物栄養学分野において優れた教育・研究業績があり、かつ本学大学院農学研究科の主旨指導教員または副指導教員資格審査判定基準（備考参照）を充たしており、学部生及び大学院生の教育・研究指導に対して熱意と十分な能力のある者

9. 着任時期 令和元年10月1日以降、採用決定後のできるだけ早い時期

10. 提出書類

- ① 履歴書（高等学校卒業以後の履歴を記入したもの。別紙記入例参照）
- ② 応募者について意見を伺うことができる方2人の氏名及び連絡先を記載した書面又は推薦書1通（冒頭に作成日及び推薦者の所属・職名を記入し、署名したもの。1,200字以内）
- ③ 研究業績目録（学術著書・訳書、研究論文、その他。別紙記入例参照）
- ④ 研究業績説明書（個々の業績を関連付けて全体を総括したもの。3,600字以内）
- ⑤ 研究業績目録に記載された学術著書・訳書及び研究論文のうち、主要なもの12編程度の本刷、別刷又はコピー
- ⑥ 専門分野における教育・研究活動、学会活動、社会活動、国際活動及び科学研究費などの公的研究資金導入の状況（冒頭に作成日及び氏名を記入したもの。1,200字以内）
- ⑦ 着任後の教育・研究に対する抱負（冒頭に作成日及び氏名を記入したもの。1,200字以内）
- ⑧ ティーチング・ポートフォリオ又は教育業績
ただし、応募する時点で佐賀大学に常時勤務する大学教員（医学部医学科臨床医学系専任の助教及び医学部附属病院専任の講師及び助教を除く。）については、標準版のティーチング・ポートフォリオ（本文及び根拠資料）の提出を必須とします。

⑨ 保有する学位に関する学位授与証明書（学位記の写は不可）
注）応募書類は，A4判，横書きとして下さい。

11. 選考方法 書類選考の上，面談（教育・研究に関するプレゼンテーション，質疑等）や専門分野に関する模擬講義
（面談などの場合の旅費等は支給いたしません。）
12. 応募締切 令和元年8月5日（月）17時必着
13. 提出先 〒840-8502 佐賀市本庄町1番地 佐賀大学農学部総務係
（※封筒表面に「生物資源科学科植物栄養学教員応募書類在中」と朱書きし，書留にて郵送してください。電子メールによる応募は受け付けません。なお，応募書類は原則として返却しません。）
14. 問合せ先 佐賀大学農学部生物資源科学科生物科学コース長 鈴木 章弘
TEL：0952-28-8721 FAX：0952-28-8709
E-mail：azuki@cc.saga-u.ac.jp
15. 本公募掲載先 本学HP：<http://www.saga-u.ac.jp/other/boshu.html>
JREC-IN
16. その他 本学では，男女共同参画社会基本法，佐賀大学ダイバーシティ推進宣言(平成29年)の精神及びポジティブ・アクションに基づき，教員の選考を行っております。
提出いただきました個人情報は，本学個人情報の保護に関する規程に準じて適正に管理し，本選考以外の目的には使用いたしません。

（備考）

- ① 佐賀大学農学部は，鹿児島大学大学院連合農学研究科の構成大学となっており，農学部教員は連合農学研究科委員会の審査を経て，博士課程の担当教員になることができます。
- ② 本学大学院農学研究科の主指導教員資格審査判定基準は，次のとおりです。査読制のある学会誌などに20編以上論文があり，そのうち10編以上が第一著者（Corresponding Authorを含む。）かつ最近5年間の業績が5編以上あること。
本学大学院農学研究科の副指導教員資格審査判定基準は，次のとおりです。査読制のある学会誌などに12編以上論文があり，そのうち6編以上が第一著者（Corresponding Authorを含む。）かつ最近5年間の業績が5編以上あること。

(記入例)

研究業績目録

2019年7月5日

佐賀太郎

学位論文

L-乳酸発酵をモデルとした回分培養の速度論的解析に関する研究
博士（農学）（九州大学農博乙第1448号）

業績は古い順に
記載。通し番号
をふる。

単著、共著に関わらず
申請者氏名には必ず
アンダーライン

雑誌名はフルタイトル
とし、省略不可

Corresponding Author
には右肩に*をつける。

論文 I

論文 I-1

佐賀太郎, 佐賀次郎, 佐賀三郎*, 1998年
畜産動物の育種と.....
日本農業動物学会誌 4: 159-167

論文と論文の間には1行のスペースをあける。ラインなどは引かない。

論文 I-2

T. Saga, J. Saga, S. Saga, 2007年
High-frequency generation of viable mice from engineered bi-maternal embryos.
Nature Biotechnology, 25: 1045-1050

論文 II

論文 II-1

佐賀太郎, 佐賀次郎, 佐賀三郎, 2003年
日本ウズラ長期選抜系統.....
佐賀大学農学部彙報 88: 73-78

著書

著書-1

佐賀太郎（分担執筆）. 1997年
育種理論 p.30-34、乳牛の改良 p.349-354

1冊の中に複数の執筆箇所がある時にも1冊として整理する。

佐賀次郎 編

畜産総合事典、佐賀書店

特許は発明者と公開年、
出願番号、公開番号、特
許番号を記載する。

その他

その他-1

佐賀次郎, 佐賀太郎, 1992 年

出願番号：特願平 3-217948 公開番号：特開平 5-30980 特許番号：第 2816777 号

共重合体およびその製造方法

Proceedings はその他に
含める。

その他-2

T. Saga, J. Saga, S. Saga, 1998 年

Quantitative trait loci (QTL) analysis in a Meishan x Goettingen cross population

Proceedings of the 6th World Congress on Genetics Applied to Livestock Production 26:

320-323

その他-3

佐賀太郎, 2007 年

核内受容体クラス I 遺伝子とその応答配列について

動物遺伝育種研究 35: 173-179

研究業績の書式について

- (1) 1. 学位論文, 2. 論文Ⅰ, 3. 論文Ⅱ, 4. 著書, 5. その他 の順に記載すること。
- (2) 「論文Ⅰ」と「論文Ⅱ」の区別は鹿児島大学大学院連合農学研究科の教員資格審査判定基準（申合せ及び社会科学系の論文の取り扱いについてを含む。）に従う。

令和元年7月現在の論文Ⅰの要件

- 1 PubMed に登録されている学会誌
 - 2 Thomson ISI list に登録されているインパクトファクター付き学術雑誌
 - 3 日本学術会議協力学術研究団体又は第19期日本学術会議登録学術研究団体が発行する学術雑誌
 - 4 その他（連合農学研究科代議委員会で承認された学会誌）
「環境毒性学会誌(出版学会：日本環境毒性学会)」
「北日本漁業（出版学会：北日本漁業経済学会)」
 - 5 社会科学系で掲載論文を論文Ⅰにカウントする対象雑誌
『日本の農業』（農政調査委員会）
『東畑四郎記念研究奨励事業報告』（農政調査委員会）
『農業総合研究』（農業総合研究所）
『農林水産政策研究』（農林水産政策研究センター）
『アジア経済』（アジア経済研究所）
『農耕の技術と文化』（農耕文化研究振興会）
『協同組合奨励研究報告』（全国農業協同組合中央会）
- (3) 「論文Ⅰ」、「論文Ⅱ」は学術雑誌に掲載された原著論文とし、それ以外の総説、技術報告、技術解説、報告書、特許、データベース、Proceedings などは「その他」とする。
なお、講演要旨（Abstract）は研究業績には含めない。
- (4) 作成にあたっての注意
- 1 英語題名は、原則として始めの1字のみを大文字とし、他は小文字とする。
 - 2 発行所、学会誌等の名称は略さない。

履 歴 書

氏名(ふりがな) 生 年 月 日 現 住 所 連 絡 先 E-mail アドレス	
--	--

履 歴

年 月	事 項
XXXX 年 XX 月	〇〇立〇〇高等学校卒業
XXXX 年 XX 月	〇〇大学〇〇学部〇〇学科入学
XXXX 年 XX 月	同上卒業(〇〇学士又は学士(〇〇))
XXXX 年 XX 月	〇〇大学大学院〇〇研究科修士課程〇〇専攻入学
XXXX 年 XX 月	同上修了(〇〇修士又は修士(〇〇))
XXXX 年 XX 月	〇〇大学大学院〇〇研究科博士課程〇〇専攻進学
XXXX 年 XX 月	同上単位取得退学
XXXX 年 XX 月	日本学術振興会特別研究員(XXXX年XX月まで)
XXXX 年 XX 月	〇〇博士又は博士(〇〇)(〇〇大学)
XXXX 年 XX 月	〇〇大学助手又は助教(〇〇学部)
XXXX 年 XX 月	文部省在外研究員(米国, ウィスコンシン大学)(XXXX年XX月まで)
XXXX 年 XX 月	〇〇大学講師(〇〇学部)
XXXX 年 XX 月	海外研修(ベルギー, ゲント大学)(XXXX年XX月まで)
XXXX 年 XX 月	〇〇大学助教授又は准教授(〇〇学部)
XXXX 年 XX 月	〇〇大学助教授又は准教授(連合農学研究科)併任
XXXX 年 XX 月	〇〇大学教授(〇〇学部)
	現在に至る
	(賞罰)
XXXX 年 XX 月	〇〇賞受賞

注. 3ヶ月以上の海外留学, 内地留学, 海外出張及び海外研修は記入すること。